



令和3年度鳥取県障がい者 舞台芸術祭 「あいサポート・アートとっとり祭り」

開催計画(案)



パレットくん



アートリピー



大会開催方針

テーマ

“障がいを知り、共に生きる”

開催方針

第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会の
成果を未来に引き継ぐ

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた
障がい者の芸術文化活動推進の取組をレガシー
として次世代に継承する

→ 全国をリードする先導的役割を果たしてきた本県として
障がい者の芸術文化振興を一層推進する

発表(表現)し、鑑賞し、共に楽しむ

→ 障がい者が日ごろ取り組んでいる芸術文化活動の成果を
紹介、発表する

鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画 推進項目「文化芸術の作品等の発表の機会の確保」

→ 優れた芸術・文化を鑑賞できる機会として、共に楽しむ

鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画 推進項目「文化芸術の鑑賞の機会の拡大」

障がいの有無に関わらずあらゆる人が参加する

→ 障がいの有無に関わらずあらゆる人が交流し、共に創作する

鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画 推進項目「文化芸術活動を通じた交流の促進」



令和3年度鳥取県障がい者舞台芸術祭 「あいサポート・アートとっとり祭り」の開催

1 趣 旨

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内の障がい者が取り組む舞台芸術（音楽、演劇、ダンス等）の発表と鑑賞の機会が減少している状況を踏まえ、ウィズコロナ、アフターコロナに適した発表と鑑賞の機会を創出することで、障がい者の生活を豊かにするとともに、障がい者の社会参加と県民の障がいに対する理解の促進に寄与する。

2 主 催 鳥取県

3 日 時 令和3年10月16日（土）、17（日）

4 場 所 米子コンベンションセンター

5 内 容

- (1) オープニングステージ・フィナーレステージ
- (2) 公募団体によるステージ発表
- (3) 招聘団体による舞台
- (4) 障がい福祉サービス事業所等による物販（飲食を含む）
- (5) 啓発展示（あいサポート運動、全国障がい者芸術・文化祭）
- (6) 障がいの有無にかかわらずあらゆる人が交流し共に創作するイベント

6 入場料 無料（どなたでも観覧可）

7 広 報

- (1) チラシ（出演団体募集・開催案内）（A4）：出演団体募集6,000部程度
開催案内15,000部程度
※チラシ発送先について、県内障がい福祉・芸術関係団体、障がい福祉サービス事業所等約700箇所は必須
- (2) プログラム（開催編）（A3両面二つ折り）：10,000部程度
※点字版も作成
- (3) ポスター（開催案内）（B2）：1,000部程度
- (4) テレビ及びラジオ、新聞、地元メディア情報誌、インターネット広告等多様なメディアを使った情報発信



8 障がい者等への配慮事項

- (1) 手話通訳者、要約筆記者及び音声ガイドの配置
- (2) チラシ等への音声コードの添付
- (3) インターネット動画の配信（ステージ発表は、ライブ配信）
- (4) 救護室（休憩室）の設置及び救護者の配置
- (5) 託児室の設置及び託児者（保育士等）の配置
- (6) 車いす介助員の配置
- (7) 無料ジャンボタクシー等の配置及び乗降場における介助員の配置
- (8) 会場出入口における介助員の配置
- (9) 重度の障がいのある方の対応として、1人につき1人体制で対応できる者の配置
- (10) その他、手話通訳者など障がいに応じた支援にあたるスタッフの配置

9 備考

- (1) アフターコロナ、ウィズコロナに適した、ニューノーマルを見据えた運営とする。
- (2) ステージ発表の出演者は、県内障がい者団体（又は個人）の中から公募で決定する。
- (3) 出演者リハーサルを行う。
- (4) 障がい福祉サービス事業所による販売コーナーでは昼食も含めた飲食物などを販売する。
- (5) 出演者の受付・調整からイベント開催（会場設営・撤去）まで一括して業務委託する。出演団体に係る業務（応募の受付、発表までの各種調整、出演団体説明会の開催等）、会場装飾、看板、構成企画、司会進行、ディレクター、舞台監督、音響・照明、チラシ・ポスターの発送業務等）も委託業務に含める。

10 スケジュール

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) 7月頃 | 委託事業者決定 |
| (2) 7月頃 | 出演者募集開始 |
| (3) 8月頃 | 出演者募集締切 |
| (4) 9月頃 | 出演者との調整、各種準備 |
| (5) 10月16、17日 | とっとり祭り |